

秋まつり

第5回目となる町連の秋まつりが、9月30日の日曜日、地区センター内外で行われました。

当日の天気予報が思わしくない中、曇り空の寒い屋外のテント設営などから準備がはじめられたのですが、徐々に雨が強くなりビショビショになって準備をしていたスタッフもあり、どうなることかと思いましたが、開会のころには雨も止んできました。

池田区長から挨拶を頂いた後、北修学園マーチングバンドの演奏で開会されました。焼き鳥、焼きそばの香ばしい匂いが漂い食欲をそそります。心配された雨も上がり来場者は続々と増え、延べ620名の方々が飲食や体験とそれぞれのコーナーに立ち止まり、楽しく過ごしました。はしご車体験は大人気、煙道くぐりや消防の放水体験もありました。消防署の皆さん、児童会館の皆さん、地区センターをはじめご協力頂いた皆さんありがとうございました。6月から実行内容を検討し準備をかさね、まつり前日・当日合わせて約220名の方が運営に携わりました。楽しかったひと時の思い出をスナップ写真で紹介します。

開会式 マーチングバンドの演奏



野菜販売は大盛況！



大人気のくじ引き



わーい！釣れたよー(^◇^)



交通安全クイズもやったよ！スタンプラリーで景品もらっちゃった！

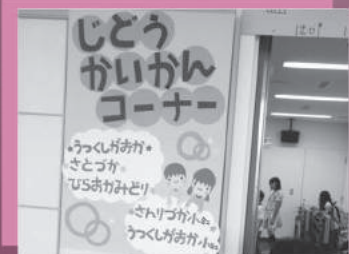


ヨーヨー釣れるかな？

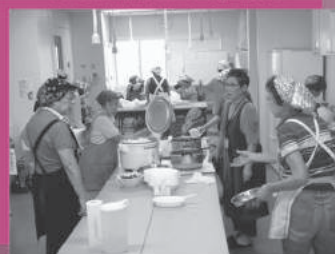


当たるかな？ストラックアウト

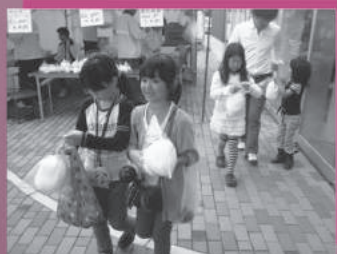
児童会館の子どもたちもお手伝い頑張ってたね！スマートボール



女性部もカレーライスとうどん作りに大奮闘！



わたあめ美味しそうだね！



反射神経が大事です。
もぐらたたき



上手くキャッチできるかな？



館内のお食事処はお客さんでいっぱい！家族で楽しんでいる姿もたくさん見られました。



今年も大人気のはしご車搭乗体験



わー！高い！！
はしご車搭乗体験



フランクフルト班も頑張ってます！



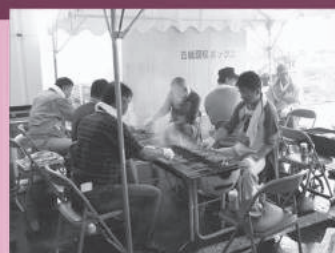
屋外販売也大盛況！



かっこいいぞ！消防放水体験
未来の消防士さん。



今年も盛り上がりました！
バナナのたたき売り



やけどに気を付けて！
焼き鳥班、いつもお疲れ様です！



とても手際がいい、焼きそば班！



第13号 2012.12.10 発行

里塚・美しが丘
地区町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1

里塚・美しが丘地区センター内

電話 011-884-1210

里・美地区ホームページアドレス
<http://www4.ocn.ne.jp/~satomi0/>

第6回町連理事会

秋まつり関連の報告を主とした理事会が、10月25日(木)夜開かれました。大形会長から秋まつりへの協力に対しお礼の言葉があり、また、風邪への注意がありました。秋まつり当日朝の雨が幸いにも短時間であがり、予定していた催し物は滞りなく実施されました。ただ、雨天時の屋外での販売や催し物などについての対応策や、2階の食事処のイスが不足していたなどの意見がありました。また、離れた駐車場担当の町内会の方々もまつりの雰囲気味わうことができるように、交代などを考えたいとのことでした。このほか、地区センターで実施される「宿泊型避難所体験」について説明がありました。



～ツルツル路面！ 冬型事故に気をつけて！！～

交通安全 街頭啓発



秋の街頭啓発は9月21日(金)に、美しが丘のフードDから卸売スーパー付近にかけての羊ヶ丘通沿いで、約60名が参加して行われました。

冬の街頭啓発は11月15日(木)に、清田区役所前広場に集まり総決起集会が行われました。時折日差しのある穏やかな日でしたが、冬の寒さを感じながら大形町連会長の挨拶は元気な声で、社会事業への参加のお礼と、冬の運転についての注意点を分かりやすく述べられました。街頭啓発は、国道36号西友清田店付近でタスキと手旗でドライバーに安全運転を呼びかけました。

運動期間中の11月23日、道内では7人の方が事故で亡くなりました。今一度、交通事故防止を心がけましょう。

ゴールで頂くトウキビと 景品が楽しみ！

ゲーム&ウォーキング



9月2日(日)、快晴で絶好のウォーキング日和の中、町連体育部主催の第16回ゲーム&ウォーキング大会が行われ、約90名が参加しました。

平岡南公園からスタートし、自然いっぱいの緑の中を軽快に歩み始めました。

中間点の里塚緑ヶ丘公園では、恒例の「ピンゴ大会」を満喫。おばあちゃんと参加した4年生の男の子は、「疲れて着いたゴールの会館で頂くトウキビとゲームの景品が楽しみです。」と笑顔で話してくれました。

日の丸団地町内会館にゴールすると、地域の方がゆでてくれたトウモロコシを食べながら、ピンゴゲームの賞品を受け取りました。

このゲーム&ウォーキングにはミステリーがあつて、スタート地点に置いた自転車も、何故かゴール地点にきているそうです???

参加されたことのない方も、来年は是非いらしてください。



「子どもを育てる地域の目」 子どもを見守る会

第13回子どもを見守る会が7月9日(月)、約80名の出席で開催されました。挨拶に立った地区青少年育成委員会・山部明夫会長から、皆さんの協力で見守る会が継続されていることに感謝の言葉がありました。

大形会長は青パト隊を充実させ、地域の皆さんの協力を頂きながら、登下校時の巡回に当たり、子どもを見守るのみならず、ごみの不法投棄などの抑止力にもなりたいと挨拶がありました。

区青少年育成指導員の佐藤加代子さんから、子どもたちの様子をスライドを見ながら話していただきました。目が届きにくく、子どもたちにとって危険と思われる場所や危険を招きやすい行動などを学びました。子どもやその保護者にも、ぜひ聞いていただきたい内容でした。

三里塚小学校・寺江康子校長先生からは、校内外においての体験活動を通し、子どもたちが地域に「とけこみながら学校生活をおくる様子」が報告され、今注目されているネットトラブルにも注目し、命の大切さなどについても学び取り組みを行っているとお話がありました。

札幌市自閉症・発達障害支援センター「おがる」の加藤潔所長は「理解しようとする」ことから全てが始まる」とのテーマで講演されました。弱者と呼ばれる方たちの支援体制が、十分ではない中で活動していることや、多数派が少数派に歩み寄ることが大切なお話がありました。



話がありました。

日北交通取締役部長・大倉浩さんは「子ども110番」ステッカーをタクシー全車のドアに貼付したことに続き、交通安全標語を印刷した諸費納入袋を小学校に寄贈し、今後も地域の社会貢献に寄与したいと力強く表明されました。

今回も、真栄中学校生徒会から2名が出席し、東日本大震災への支援活動として「ベルマーク」収集を行っており、地域の皆さんにも協力をお願いがありました。

里・美地区センターと清田区民センターに収集箱を設置してありますので、皆さんご協力をお願いいたします。



今年の標語は「子どもを育てる地域の目」です。出席者全員で復唱しました。

総評では、中央交通番・小林誠司所長から「地域の活発な活動が犯罪の抑止力になっており、今後も続けて欲しい」として、まちづくりセンター・白鳥悟士所長は、13年続いている会の活動に感謝の意と、前職務の水処理施設に例えて「水の様子も毎日目にしていれば変化・異常がわかる。見守りにも共通する所があるかも知れない」と締めくくりました。

青パト隊の活動

里塚・美しが丘地区防犯パトロール隊

代表 大形 修三

里塚・美しが丘地区防犯パトロール隊(通称「青パト隊」)は現在8名で編成されています。

里・美地区は縦長で広大、かつ、羊ヶ丘通、国道36号、高速道路等で分断されており非常にまとまりづらい地形となっています。それらを4ブロックに分割して、羊ヶ丘通を佐藤隊員、笈川隊員、大形隊員、里塚地区を菊地隊員、佐々木隊員、里塚緑ヶ丘地区を村松隊員、そして平岡公園東地区を中山隊員、後藤隊員で、それぞれ守備範囲を決めて巡回パトロールしています。

里・美地区は、清田区の中で人口も子どもの数も一番多くなっており、小・中学校の通学路や公園周辺を重点的に巡回しています。

青パト隊8名だけの巡回パトロールでは限界がありますので、青少年育成委員会、民生児童委員、小中学校PTA、幼稚園、児童会館、保護司会、各町内会、豊平警察署、区役所等の組織とも連携を図り、住民の防犯意識を高めています。

住民各位の努力があつて抑止効果が現れたのか、不審者出現情報が最近めっきり減っています。しかし、このことに慢心することなく、さらに努力してまいります。



11月27日(火)に行われた青パト隊出動式

～災害に備えていますか？～

区民フォーラム

11月4日(日) 清田区が誕生した日に、「清田区民フォーラム」が開催されていることをご存じですか？

今年の「清田区民フォーラム2012」は、昨年に続き「防災」をテーマに家庭での備えについて様々な催しが行われました。

札幌国際大学「劇団テアトロ」による防災演劇で、家庭で災害に備えることの大切さをユーモア交えた楽しい演劇を観賞しながら学びました。

続いて、きよたまちづくり区民会議が募集した防災標語・防災川柳の優秀作品の表彰が行われました。最優秀作品は、防災標語では、近藤千陽さんの「絶対に自分の命は 自分で守る」が、防災川柳では、立花久直さんの「震災に 備え我が家は 道なかば」が、選ばれました。



記念講演の中で講師の加村邦茂氏(環境防災総合政策研究機構主任研究員)は、今住んでいる地域の地形や地盤などを調べて知ることと、避難経路、避難場所を確認しておくことが大事であると言っていました。



今一度、家族で話し合い家庭で出来る備えをしておきたいと思いました。

～支え合うやさしいまちづくりを目指して～

福まち ふれあいまつり'12

7月28日(土)、「里・美地区福まちふれあいまつり'12」が地区センターで開催されました。この催しは、住民同士の交流を深めながら地域福祉活動を知ってもらおうと、里・美地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)が主催したもので、



で、気温が30度を超える暑さの中、約450名が訪れました。

北修学園マーチングバンドの演奏でまつりの幕が開き、里美歌声サークルの歌や清田ダンスキッズの踊り、美しが丘小学校や真栄中学校の合唱、福祉施設フレンドシップハウス「シオン」のハンドベルの演奏、北大落語研究会の落語やボーカルとピアノのデュオによるJAZZ演奏が披露されました。また、福祉用具や防災用具、昔遊び体験やチャリティーバザー、ヨーヨー釣りや焼き鳥にビールなどの出店などもあり、子どもからお年寄りまで楽しんでいました。まつりの最後には、ジャンケン大会が行われ、参加者は勝ち負けに喜んだり、悔しがったりと大盛り上がりでした。



昨年より2か月以上早い開催でしたが、運営委員や推進員が早くから準備を進め、まつりの当日には、平岡中学校の生徒もボランティアスタッフとして司会や出店の売り子、厨房スタッフとして参加しました。

～いざという時の心構えはできていますか？～

宿泊型避難所体験会



12月1日(土)～2日(日) 災害時の避難所生活とはどのようなものか体験してみようという「宿泊型避難所体験」を里・美地区センターにて、地区センターと里・美まちづくりセンター、里・美地区町連の企画で行いました。

初めての取り組みでしたが、地域の方や少年消防クラブの団員、区職員、大人と子どもを合わせて約70名が参加しました。

1日午後3時から体験会が始まり、地区センターの電気、ガス、水道、暖房が切られ、やがて館内は暗くなっていきます。給水車による水の配給訓練が行われ、炊き出し班は薄暗い中、夕食の豚汁を作りました。

夜は、「爆発」について学ぶ科学講座を行いました。午後9時過ぎには、段ボールで仕切りを作って区切られた寝床で、各自寝袋などにくるまって就寝しました。

翌朝は、6時半起床。ラジオ体操をした後、朝食、後片づけ、



意見発表を行いお開きとなりました。

先日も登別市、室蘭市で暴風雪による大規模停電が起きたばかりです。とても貴重な体験会でした。



～大切なのはチームワーク！～

第15回 清田区少年少女大なわとび大会

11月10日(土)清田区体育館で、第15回清田区少年少女大なわとび大会が開催されました。

区内の小学校7校から53チーム、743名の子どもたちが挑戦しました。林進一大会長の挨拶で「チームワークがとても大切です。練習の成果を思う存分発揮し、練習の時の回数を上回る記録が出るように皆さん頑張ってください」と応援の言葉を頂き、競技に臨みました。

各チーム共「せーの」の掛け声で縄を回し始め、体育館のコートにはリズムカルに縄の音が響きます。

優勝チームは、低学年の部では、清田緑小「みどりんジュニア」70回。中学年の部では、北野小「ザ・キタノ」51回。高学年の部では、清田緑小「二代目 Dream 絆ー's33B」389回の成績でした。三里塚小から1チーム、平岡南小から12チーム挑戦しましたが、残念ながら表彰台には届きませんでした。

今大会には、清田区マスコット「きよっち」と北海道コカ・コーラボトリングの「Qoo」も応援に来ていました。

子どもたちは、無事競技を終えて満足した様子でした。



地域トピックス

第12回東日本学校吹奏楽大会 銅賞受賞

札幌市立平岡中学校スクールバンド部 3年 丸山 拓正
 今年は部員 29 名中 3 年生が 4 名しかいないため、例年に比べ状況は厳しく、不安の多い年でした。

昨年の 11 月に新体制での活動が始まってから東日本大会を終えるまで、3 年連続の東日本学校吹奏楽大会で金賞という目標を達成しなければならないプレッシャーを受けて活動してきました。練習は生半可なものではなく、土日は 10 時間に及ぶことがありました。目標が高い故に、対立することもあり、部長として悩むことも多かったです。

数多くの問題を乗り越え練習に耐えた結果、東日本大会で銅賞を受賞することができました。金賞という目標は達成できませんでしたが、全力で演奏できました。

部長としての1年間は、僕が何かをしたということは殆ど無く、部員全員の努力と先生のご指導、そして地域の皆様のご支援とご協力によるものです。応援は大きな力となりました。本当にありがとうございました。



真栄中学校きれいだし隊 清掃活動

9月4日（火）、真栄中学校の生徒 67 名が地域の清掃活動を行いました。この清掃活動は、平成 21 年度から 2 年生の総合学習として行われているもので、今年が 4 回目となります。当日は、例年にない残暑の中、豊平警察署少年補導員連絡協議会里・美支部や退職警察官の団体である警友会と協力して、美しが丘西公園や美しが丘南公園、三里塚神社、町内会館などでごみ拾い、公衆トイレや水飲み場などを清掃しました。このような活動が、自分たちが暮らしている地域への愛着を深めるとともに、環境を大切にする心を育てていくものと考えます。最近、マナーの悪い大人を目にしますが、このような生徒たちを見習って欲しいものです。



第65回 全日本合唱コンクール 金賞受賞
第79回NHK全国音楽コンクール 奨励賞受賞

札幌市立真栄中学校合唱部 3年 佐藤 香純

私は真栄中学校合唱部員として、3年間たくさんの経験をさせて頂きました。毎年全国コンクールに出場できたことは本当に幸せに思います。今年は、思うように歌えなかったり、みんなの心が一つにならなかったりと、辛い時もありました。しかし、それを乗り越えた時は、達成感を感じることができました。全国のステージという憧れの舞台で歌えたことは、一生の思い出です。

3年間で学んだことは、歌う技術や礼儀だけでなく、歌う仲間や支えてくれる先生・家族・友人がいるということは当たり前ではなく、とても幸せなことだということを学びました。部長として足りない面もあった私についてきてくれた仲間には本当に感謝しています。

こんなに貴重な体験がで
き、充実した中学校生活
をおくることができたのは、
合唱部で活動してきたこと
と、それを支え応援してく
れた皆様のおかげです。こ
れからも真栄中学校合唱
部の応援をよろしく願いします。



美しが丘小学校開校20周年記念

美しが丘小学校が、今年、開校 20 周年を迎え、10 月 31 日(水)に体育館で記念式典が行われました。当日は、福家一俊校長の式辞、札幌市教育委員会・池上修次指導担当部長及び保護者と先生の会・梶谷大志会長から祝辞がありました。引き続き、児童によるお祝いがありました。児童によるお祝いは、スライドによる美しが丘小学校の紹介でスタートし、1・2年生は「食べ物への感謝」3・4年生は「地域の方々への感謝」5・6年生は「人とのつながり」をテーマに、歌や踊り、人文字などを披露しました。最後は、児童全員と教職員で「未来への讃歌」を合唱しました。

同校の益々の発展・
活躍を願っています。



真栄ボーイズ
全国大会へ！

美しが丘を拠点として活動する少年野球チーム「真栄ボーイズ」が12月22日(土)、23日(日)に全国から11チームが集まり東京の明治神宮球場で行われるポップアスリートカップに北海道代表として出場することとなり12月4日(火)



編集後記

真栄ボーイズも全国大会制覇に向けて頑張ります！」と元氣よく意気込みを語ると、知事は「岡邪やインフルエンザに氣をつけて、万全の状態で試合に望んでください。」と選手たちを激励しました。

大会には、チームの6年生12名が遠征します。健闘を祈っています。

今年は記録的な残暑でした。その暑さの中、多くの方が活動に携わっていました。取材に伺うことによって、その方たちの大変さを知るとともに、活動に対する理解を深めることができました。それらの情報が地域の皆さんに伝わるように、また、記事がマンネリ化しないように気をつけています。何かご意見がありましたら遠慮なく広報部までご連絡下さい。

部 長 金江 大次
副部長 南部 由貴恵
副部長 奥谷 典子
オブザーバー 白鳥 悟士